

地域支援だより



令和4年5月31日

第123号

秋田県立秋田きらり支援学校

地域支援部

## 子どもの「願い」を支える自立活動～各計画をしっかりとつなげましょう～

新年度がスタートし、子どもたちとの関係も深まってきた今、「個別の支援計画」「個別の指導計画」等を作成した頃ではないでしょうか。本号では、それぞれの計画が子どもの成長を支える有効なツールとなるよう、役割やつながりについて述べます。

なりたい自分  
夢  
願い

進路  
やりたいこと

Aさん

◆Aさんの「願い」「やりたいこと」等の実現に向かって、必要な支援は何か？

アナウンサーみたいに、かっこよくお話ししてみたいなあ。

＜個別の支援計画＞

Aさん（保護者）のニーズを把握し、長期的な視点に立って支援目標を設定します。目標の達成に向けて、本人を取り巻く関係機関が連携して支援していくためのツールです。

◆Aさんの「願い」「やりたいこと」等の実現を目指すにあたり、障害による学習上・生活上の困難となっていることは何か？

ここが自立活動の視点！

例：原稿の文章が長いと見続けるのが苦手・・・

タブレット画面に短文を提示して、ページをスライドさせて原稿を読んだらどうか？

読み飛ばしがなくなるように、偶数行で色を変えたらどうか？

自分に合った方法を習得すれば、Aさんはもっと学びやすくなる！

→ Aさんの学習を支えるもの・こと → 自立活動の目標や内容となる

＜個別の指導計画＞

Aさんの実態や教育的ニーズに応じて適切な指導を行うため、各教科等の指導目標、指導内容、指導方法を明確にし、きめ細やかに指導するためのツールです。指導者が変わっても（教科担当制など）情報共有され、計画的・継続的な指導ができます。

各教科等の指導に自立活動を生かすことが、子どもの学びやすさにつながります。それが「各教科等と密接に関連を図る」ということになります（例えば国語の長文を読む際に上記の方法を取り入れる等）。子どもと話し合いながら、子どもが自分から「学びたい」「学んでみよう」と思える自立活動を計画してみましょう。 (文責：藤原恵理子)

### 令和4年度 きらりミニ学校展のお知らせ（6月開催分）

☆学校紹介パネル、児童生徒の作品や作業学習製品等を展示します☆

きらりミニ学校展① 6月 8日（水）～6月17日（金）【北都銀行御所野支店】  
きらりミニ学校展② 6月21日（火）～7月 8日（金）【北都銀行秋田東支店】

秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

## 児童が自分の課題から学習計画を立てる自立活動の実践（小学部：準ずる教育課程）

学級の児童2名が自分たちで学習計画を考え、実践する「自立活動（時間における指導）」の学習です。今後、児童の変容に応じて試行錯誤しながら活動を進める予定です。

### ① 担任との面談や自己理解の時間を通して、自分の心や体の課題を整理する時間を作った。

（児童A）気持ちが沈むときがあるので、スポーツ等を通して気力を高めたい。

（児童B）体温調節が難しいので、自己管理の方法を身に付け、元気に過ごしたい。

### ② 学級で話し合い、二人に共通する解決策はないか検討した。

（児童A）スポーツを通してストレスを発散すれば、気力が高まるのではないか。

（児童B）屋外や屋内で様々な運動を経験すれば、自分に合った体調管理の方法が見つかり体力も高まって元気に過ごせるのではないか。

### ③ 二人で考えた解決策に主体的に取り組めるよう、興味関心の高い学習活動を選んだ。

題材名：体力と気力を高めよう

主な内容：うさぎ探し、公園遊び、校外散策、バレー、野球



敷地内にいるうさぎの痕跡を探しながら歩くことで、ワクワクする気持ちをもちながら体力の向上を図ります。

### ④ 毎時間の振り返りを積み重ねることで、身体や気持ちの変化に気付いていく。

（児童A）ストレスが少し消えた気がする。 （児童B）体温調節がうまくできた。

（文責：蔭山佐智子）

## 教育専門監のコーナー

### 『自分が魅力的であるために』

#### 【自分を知る（自己理解）】

感情の動き、喜怒哀楽、自分の大切にしていること、そして自分はどうありたいのか、**文字にし、言葉にして「触れ」「聞く」ことで自分を知っていきましょう。**

#### 【自分を受け入れる（自己受容）】

**自分って「そういうところもあるかもね」。**好きな自分も嫌いな自分も、受け入れられない自分も、いろんな自分を受け入れていきましょう。

#### 【自分にOKをだす（自己承認）】

行動した自分に、気持ちの小さな変化を見付けた自分に、そして**そのままの自分にOKを出しましょう。**もちろん**人に認められた自分**にも。

#### 【自分にYESと言う（自己肯定）】

様々な選択の中で、**本当に望んでいること、「本当はこうだったらいいのに」と**思うことに、自分で自分にYESと言ってみましょう。

#### 【自分を信じる（自己信頼）】

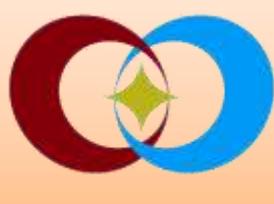
私には力がある、私にはそれができる、**他の誰でもない、自分自身でそれを認めていきましょう。**

参考：『【保存版】自分に自信をもつ5ステップ！』

（北村卓也 findyou.co）

#### 《二人のうさぎ探し》

自分の可能性を信じて自己を高めていく、小学部の自立活動の実践。大切にしているのは、自分への理解を深め、相手を認めること。二人は「うさぎ探し」の学びの中で、自分と相手や社会との関係を肯定的に受け止め、自分に対する肯定的な評価を抱きながら、自分はかけがえのない大切な存在という感覚を深めていきます。「うさぎ」は自分と向き合うためのテーマ。子ども達は自身への気付きを深めることで相手を思い、新たな関係を作り上げていきます。互いを信頼する力の高まりは、昨日までと違う新しい行動を起こすきっかけへと変わり、相手と目的を意識した仲間との学びの中で、学んだ事柄のより深い意味や自分との関係に気付いていきます。さらに、その次の学びへと結び付けて行く適切な「振り返り」により、子ども達は、学び得た事柄に意味を与え、価値を見出しながら「自身の理解」を深め、自分の在り方や生き方を身に付けていきます。



教頭 近藤 郁 地域支援部主任 大友 明希子

住所：〒010-1409 秋田市南ヶ丘1丁目1番1号

E-mail : kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話 : 018 (889) 8573 FAX : 018 (889) 8575

QRコード 「きらり Net」は本校ホームページから閲覧することができます。

<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html>